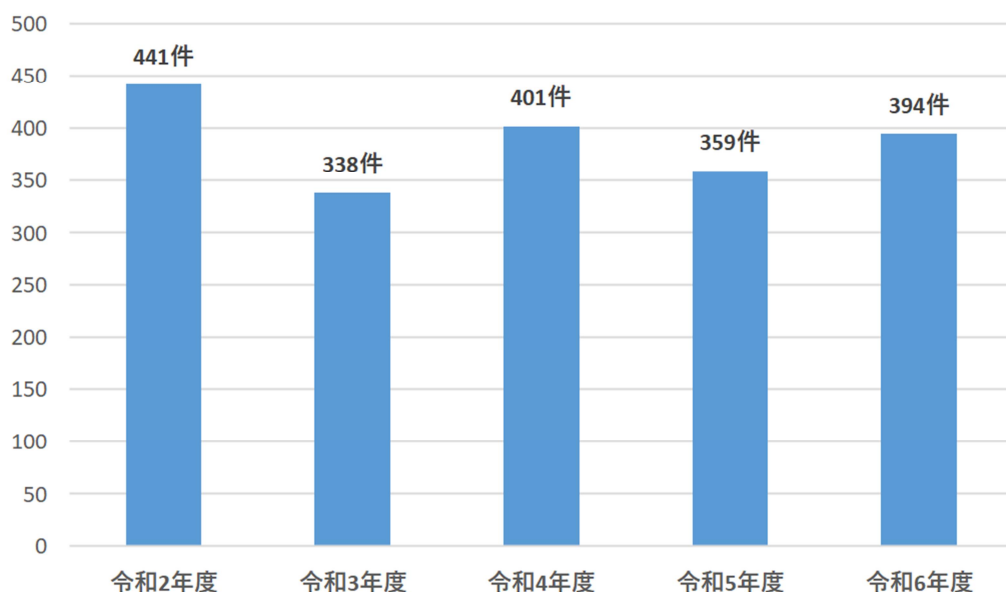


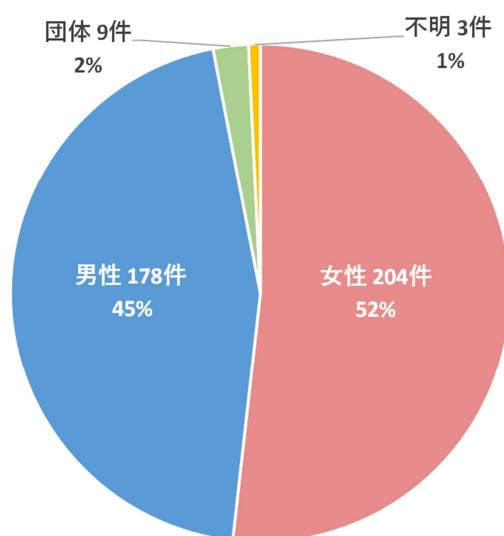
令和6年度の相談概要

◆年度別相談総件数の推移

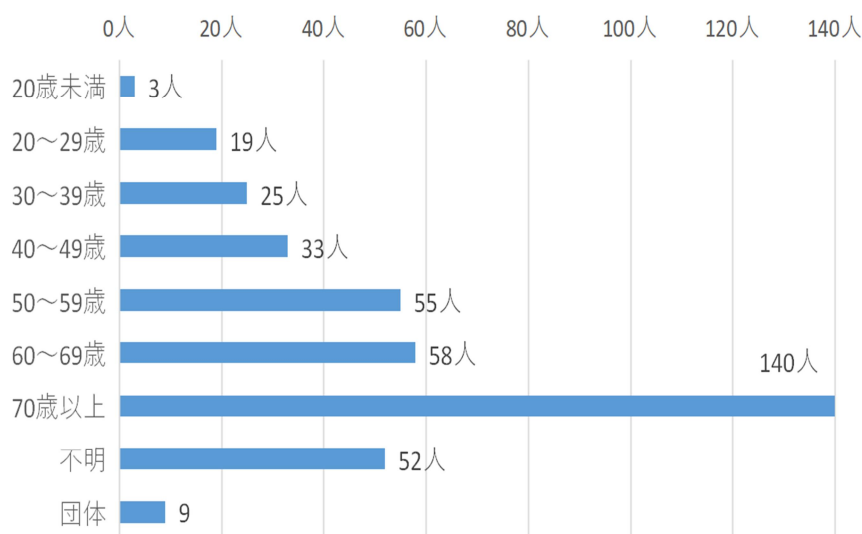


◆2024年度(令和6年度)の相談状況

《男女別相談状況》



《年齢別相談状況》



《傾向と特徴》

令和6年度の相談件数は、394件（令和5年度 359件）、前年比約110%で35件の増であった。年齢別では60歳代58人（14.7%）70歳以上127人（35.5%）で全体の半数程を占めている。依然として、高齢者の消費者トラブルが多いことがうかがえる。

相談内容としては「架空請求に関する相談」、「クレジットカードの不正利用に関する相談」及び「化粧品等の定期購入トラブルに関する相談」が目立った。また「工事・建築・設備に関する相談」が前年度と比較し2.5倍に急増していた。

《相談項目の上位》

① 商品一般に関する相談

架空請求、不審なメール、クレジットカードの不正利用など

② 保健衛生品に関する相談

化粧品（定期購入等）に関するトラブルなど

③ 工事・建築・設備に関する相談

家の修理や修繕に関するトラブルなど

④ 食料品に関する相談

健康食品やサプリメント（定期購入等）に関するトラブルなど

⑤ 教養娯楽品に関する相談

新聞購読契約に関するトラブルなど